

体育科・保健体育科「水泳系」

運動・スポーツを見る、行う、支える、知る子どもへ ～水泳系～

期待できる効果

●こんな子どもの姿を期待できます

- ・一流の選手と共に演技をすることで、特性を深く味わう子ども
- ・自ら目標をもって挑戦し、あきらめずに粘り強く取り組む子ども
- ・オリンピックやスポーツへの関心を高め、積極的にかかわる子ども

1 オリンピアンとシンクロ体験

オリンピック石黒選手を講師に招聘し特別授業を行いました。事前に石黒選手のことを学んでいた子どもたちは会えることを楽しみにしていました。石黒選手からは、小学校時代の交通事故、重い後遺症に苦しみながらも希望を失うことなく努力し続けたこと、家族の支えや感謝の心等についてお話をいただきました。その後、学校のプールで、シンクロナイズドスイミングの演技を実演していただきました。子どもたちは、初めて出会ったシンクロの演技に興味を示し、その演技の美しさや素晴らしさに感動することができました。その後、5・6年生の子どもたちとシンクロの演技の体験活動を行いました。あらかじめ子どもたちが選曲していた音楽に合わせ、振り付けを考えていただきながら御指導いただきました。演技内容には、水中からジャンプする、水中で移動する、水を浴びる、潜る、浮く等の水泳に繋がる運動が含まれており、水の中で運動する楽しさや心地よさを味わいながら技能を高めていくこともできました。子どもたちは、石黒選手と主体的に関わりながら、シンクロという初めてやってみる運動に興味をもち、高い目標に向かって挑戦し続

けていきました。全体練習や個人練習、列ごとにミニ発表会、最後は全員での演技発表を行いました。友達の動きを見ながらタイミングを合わせたり、よりダイナミックに全身を使ったりし、仲間とシンクロすることの心地よさも味わっていきました。

2 体育科「水泳」と関連

その後、体育科「水泳」（第5・6学年）の学習では、自分の目標を立て、課題を発見し、友達とバディを組んで助け合いながら課題を解決していく子どもたちの姿がみられました。浮く泳ぐ運動の技能を高めた上に、シンクロナイズドスイミングは「スイミング」が基本であることから、泳ぐことの意義や楽しさを理解する子どもが増えました。



ココがポイントです！

- ①オリンピック等と出会わせる前に、子どもたちに見通しをもたせておく効果的です。
- ②体育科の学習の前に、各領域と関連させることが可能な時期や内容をもったオリンピック等と出会わせると効果的です。

石黒選手の話聞く様子



石黒選手とのシンクロ体験の様子



▲実演を見ている様子



▼練習の様子



▲ミニ発表会と全員での演技発表

水泳の学習の様子

